

2024 教室・講座・イベントの成果報告

| | | | | | |
|--------|---|-----|-----|-----|----|
| 主催者名 | はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」 | | | | |
| 題名・副題 | トンボのヤジロベーと自分の体でバランス実験 ～自分の体の重心と移動を体感する～ | | | | |
| 月日・時間 | 2024年6月30日(日) 10:00~12:00 | | | | |
| 開催場所 | はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室 | | | | |
| 部会・講師名 | 生物部会 武澤研二 | 参加数 | 12名 | 講師数 | 7名 |

写真・画像



自分の体で実験「体重計シーソー」



小鳥だるまを作った



トンボのヤジロベーが指にとまった



重心移動を実感した歩く実験

成果解説

この教室は、「トンボのヤジロベー」と「小鳥だるま」起き上がりこぼしの工作と自分の体を使った重心移動の実験で重心の働きとバランスの大切さを学ぶ体験授業です。

「歩く実験」では自らの重心移動を実感しました。2台の体重計に乗って体を左右に寄せる実験「体重計シーソー」で自身の重心移動を目で確かめました。「小鳥だるま」にワッシャーの錘を付けたとたん起き上がりこぼしになってちょっとびっくり、重心移動の効果を学びました。「トンボのヤジロベー」工作は、新たに翅をメタリックタイで補強し、翅の位置、傾きなどの工夫でバランスを取ってみんながヤジロベーに出来ました。自由に色塗りした自作トンボのヤジロベーも楽しく作りました。

動物は餌を探す、天敵から逃げる、巣に餌を運び、仔を育てるなど、日々生きるため、命を繋ぐため移動すること、そのために多様な自然環境が大切であることを学びました。地球温暖化により「早くなった春」の生き物のつながりへの影響を考えました。「これからも、動物たちがぐらしてゆけるよう、自然環境をたいせつにしましょう」とメッセージを伝えました。行った工作や実験は皆それぞれ楽しかったとの感想でした。